

# 資 料

## 「生活意識に関するアンケート調査」(第3回)の結果

### ——「金融環境変化の下での生活者の意識と行動」

#### (はじめに)

日本銀行が行う金融政策や業務は、「物価の安定」や「金融システムの安定」を目指して運営されており、これら2つの目標は国民生活と深く結び付いています。このため、日本銀行ではこれまでも本店や支店を通じて広報活動を行うとともに、国民各層の意見や要望を幅広くお伺いするよう努めて参りました。

近年、生活に対する国民の意識や価値観は一層多様化しつつあり、こうした下では日本銀行としても、国民の声や生活実感をさらに肌理細かく把握し、これを金融政策や業務運営の参考としていくとともに、広報活動の一層の充実を通じて、日本銀行の金融政策や業務運営に対する理解を深めていただくことがますます重要になってきたと考えられます。

こうした考え方にに基づき、一昨年2月に第1回の「生活意識に関するアンケート調査」(調査結果は『日本銀行月報』<平成5年5月号>に掲載)を、次いで昨年3月には第2回調査(「生活

者の目から見た将来の経済と生活ビジョン」が主なテーマ。調査結果は同<平成6年5月号>に掲載。なお、調査対象はいずれも、全国20歳以上の男女個人4,000人)を実施しました。今回の調査は「金融環境変化の下での生活者の意識と行動」を主なテーマとして、最近における金融自由化や金融機関を巡る情勢の変化など金融環境が変わりつつある中で、生活者はどのような意識でこうした変化を捉え、どのように行動しようとしているかなどを探ろうとしたものです。

この調査は、「短観」のような統計指標を得るための調査ではなく、人々の意識や行動を大まかに窺<sup>うかが</sup>う一種の世論調査です。もとより、人々の意識や行動は漠然とした性格を持つものであり、これを正しく把握していくためには、引き続き調査内容等の改善が必要と考えています。

今後とも各方面のご意見を承りながら、その改善を図りつつ、金融政策や業務運営の参考材料として活用していきたいと考えております。

#### (調査の概要)

- ・調査実施期間……平成7年3月10日(金)～3月21日(火)
- ・調査対象……全国の20歳以上の男女個人
- ・標本数……4,000人(有効回答者数3,251人<有効回答率81.3%(注)>)
- ・抽出方法……層化2段無作為抽出法
- ・調査方法……設問票によるアンケート調査(訪問留置法)

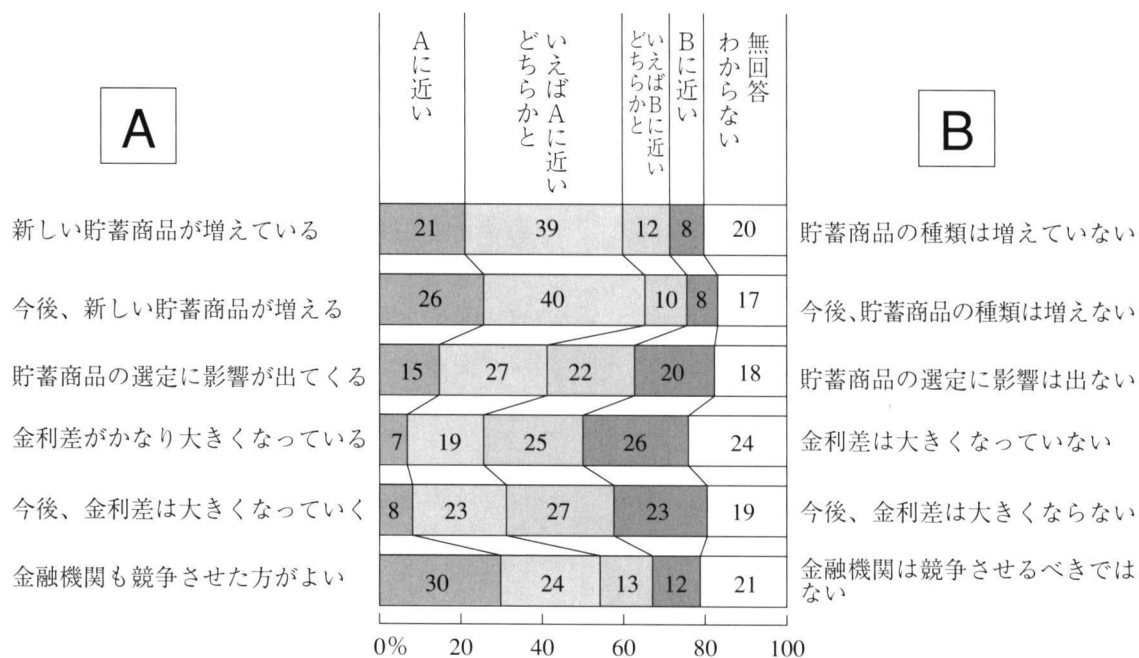
(注) 阪神・淡路大震災の影響で調査が不可能になった地域を除くと82.9%の回答率。

## (調査結果の概要)

### 金利自由化などの受け止め方

金融の自由化に関連して、6割の人が「最近、新しい貯蓄商品が増えている」と感じており、また、7割弱の人が「今後、新しい貯蓄商品が増える」と考えている。

一方「同じ貯蓄商品における金融機関の間の金利差」については、全体の半数の人が現状は「大きくなっていない」と感じており、今後についても半数の人が「大きくならない」とみている。なお、金融機関の競争については、「一般企業と同様に競争させた方がよい」とする人が5割強、「公共性が高いので競争させるべきではない」とする人が2割強の割合となっている。

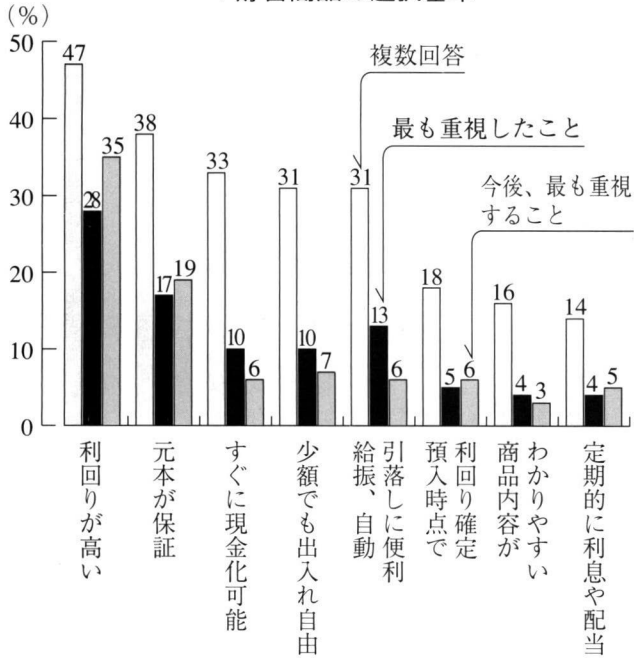


### 貯蓄商品、金融機関の選択基準

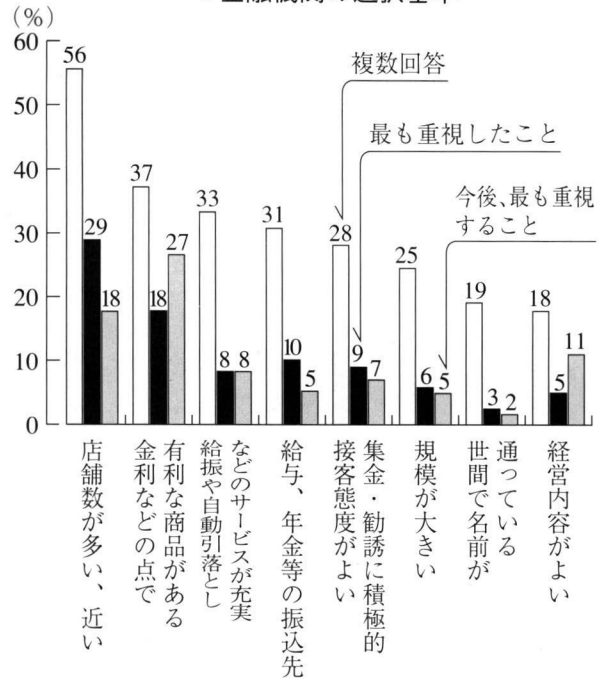
貯蓄商品選択の基準として重視されているのは（複数回答）、「利回りが高いこと」（47%）、「元本が保証されていること」（38%）の順。「最も重視したこと」「今後、最も重視すること」でもこの傾向は変わらない。

金融機関選択で重視する点（複数回答）は、「店舗数が多い、店舗が近い」（56%）を挙げる人が最も多く、次いで「金利などで有利な商品がある」（37%）となっている。「最も重視した点」でもこの2つを挙げる人が多い。「今後、最も重視する点」では「金利などで有利な商品がある」（27%）とする人が最も多いほか、「店舗数が多い、店舗が近い」（18%）、「経営内容がよい」（11%）を挙げる人も多い。

▼貯蓄商品の選択基準

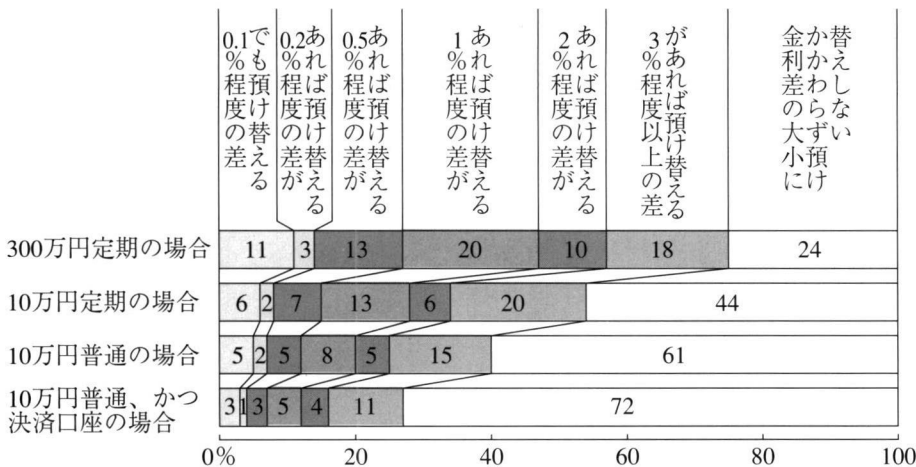


▼金融機関の選択基準

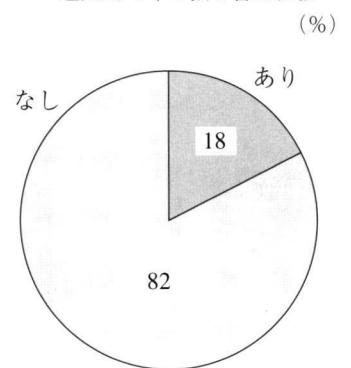


### 金利差による預金の預け替えについて

「長年取引のある金融機関に1年満期で保有している定期預金が満期を迎えた場合、近くの他の金融機関(規模、経営内容は現在預けている金融機関と同一と仮定)がどの程度高い預金金利を提示すれば預け替えをするか」との問いに対しては、300万円のケースでは1%程度の金利差で半数近い人が「預け替える」と回答。10万円定期預金、10万円普通預金などではこの比率が徐々に低くなっている。一方、「過去2、3年の間に高い金利を得ることを主な目的に預け替えた」とする人は2割弱。



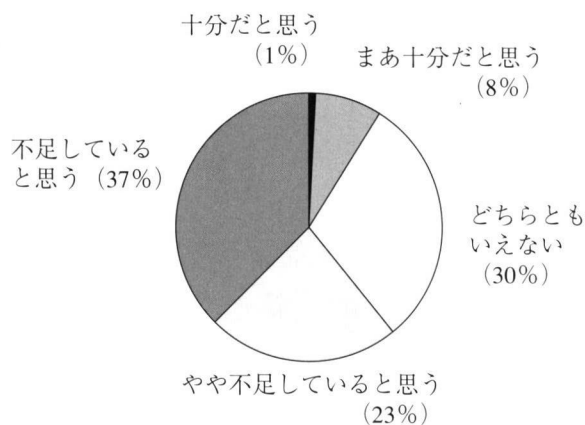
▼過去2、3年の預け替え経験



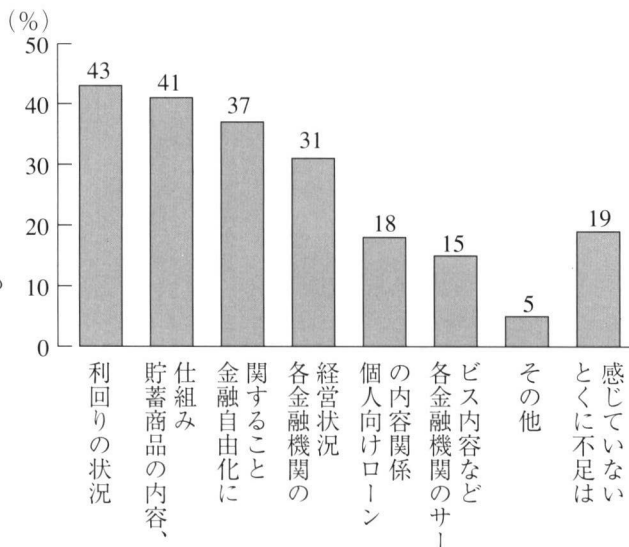
## 金融関係情報の充足度など

金融関係の情報については、6割の人が「不足」「やや不足」と回答、「十分」あるいは「まあ十分」とする人は1割以下にとどまっている。不足している情報としては、「各金融機関、各貯蓄商品ごとの利回り」(43%)、「各貯蓄商品の内容、仕組み」(41%)、「金利自由化に関すること」(37%)、「各金融機関の経営状況」(31%)などの順。

### ▼金融関係情報の充足度

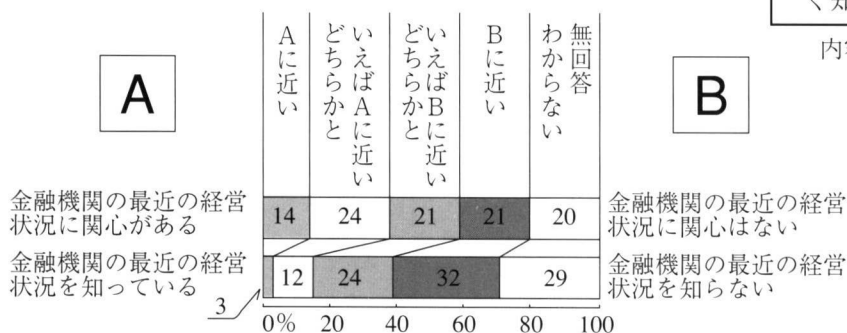


### ▼不足している金融情報（複数回答）



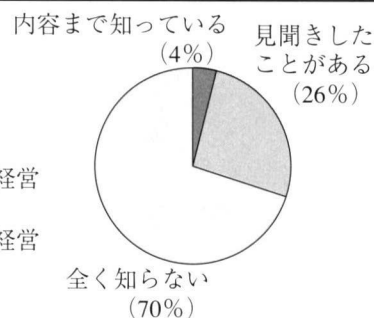
## 金融関係の経営状況への関心など

金融機関の最近の経営状況について、「関心がある」と「関心がない」人はいずれも約4割。一方、「経営状況がある程度知っている」という人は15%にとどまっている。



## 預金保険制度の認知度

預金保険制度について、「内容まで知っている」あるいは「見聞きしたことがある」人は全体の3割。一方、全体の7割は「全く知らない」と回答。



## (調査結果)

(注) 色文字の数値は回答比率 % (小数第2位を四捨五入したことや、一部設問で無回答者を掲記していないため、単数回答項目について、その構成比の合計は必ずしも100とならない)。

はじめに生活全般についてあなたのご意見をおうかがいします。

## (1) 景況感

問1. あなたは、最近の世間の景気をどうみていますか。(○は1つ)

1	2	3	4	5
よい	まあよい	どちらともいえない	やや悪い	悪い
0.3	3.5	17.4	42.4	36.3

問2. 最近の世間の景気について、あなたがそうお考えになるのは主にどのようなことからですか。

(○は3つまで)

1 新聞やテレビ、雑誌、週刊誌などの情報から	71.1
2 家族や知人、友人などの人のはなしを聞いて	33.5
3 自分の店の売上げや生産物の売行き状況から	15.2
4 勤め先の経営状況や雰囲気から	35.3
5 自分や家族の収入の状況から	23.3
6 自分や家族の雇用状況(就職・転職の難易度、配置転換、解雇など)から	15.5
7 周囲の人々のお金の使い方を見て	16.5
8 デパート、商店街、盛り場などの混み具合を見て	21.9
9 観光地や行楽地、旅客ターミナルなどの混み具合を見て	6.5
10 なんとなく漠然と	7.1
11 その他(具体的に )	2.0

問3. あなたは、1年後の景気が、現在と比べてどうなっていると思いますか。(○は1つ)

1	2	3	4	5
よくなって いると思う	ややよくなって いると思う	変わらない と思う	やや悪くなって いると思う	悪くなって いると思う
0.8	18.1	60.8	13.3	6.9

## (2) 収 入

問4. 1年前と比べて、あなた(および配偶者)の収入はどうなりましたか。(○は1つ)

1	2	3	4	5
増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
1.5	19.6	48.1	17.7	13.0

問5. 1年後のあなた（および配偶者）の収入は、現在と比べてどうなると思いますか。（○は1つ）

1	2	3	4	5
増えると思う	やや増えると思う	変わらないと思う	やや減ると思う	減ると思う
13	20.5	57.2	13.3	7.4

### (3) 消 費

問6. あなたは、1年前と比べて、最近、ご自分またはご家庭の支出をどのようにしていますか。全体としてみた場合でお答えください。（○は1つ）

1	2	3	4	5
切り詰めている	やや切り詰めている	変わらない	やや増やしている	増やしている
17.6	40.5	35.7	5.4	0.9

(切り詰めている人<問6で1、2と回答>に)

(増やしている人<問6で4、5と回答>に)

問6-1(a). 具体的にどのような費目を切り詰めていますか。（○はいくつでも）

1 食費	42.1
2 衣料費（装身具を含む）	68.6
3 車およびその維持費	19.4
4 家具、電気製品などの耐久消費財	32.3
5 家賃、地代、家の維持補修費	4.0
6 教養・娯楽費、交際費	39.2
7 子供の教育費	1.4
8 医療費	2.2
9 光熱費、水道費	25.6
10 交通費、通信費	9.4
11 全体的に切り詰めている	7.0
12 その他（具体的に）	0.5

問6-1(b). 具体的にどのような費目を増やしていますか。（○はいくつでも）

1 食費	38.6
2 衣料費（装身具を含む）	22.8
3 車およびその維持費	19.8
4 家具、電気製品などの耐久消費財	19.8
5 家賃、地代、家の維持補修費	12.9
6 教養・娯楽費、交際費	37.6
7 子供の教育費	39.6
8 医療費	12.4
9 光熱費、水道費	18.8
10 交通費、通信費	11.9
11 全体的に増やしている	3.5
12 その他（具体的に）	3.5

問6-2(a). それらの支出を切り詰めている理由は何ですか。（○はいくつでも）

1 収入が減ったから	42.5
2 借入（ローン）返済の負担が増えたから	17.8
3 土地や株式など資産価値が減少し、将来に不安を感じるようになったから	11.6
4 景気などに関するマスコミの報道を見聞きして、不安を感じるようになったから	31.8
5 欲しいものは大体買ってしまったから	10.4
6 物価が上昇したから	18.6
7 最近まとまった支出があった、あるいは今後まとまった支出を予定しているから	37.3
8 その他（具体的に）	6.4

問6-2(b). それらの支出を増やしている理由は何ですか。（○はいくつでも）

1 収入が増えたから	16.3
2 借入（ローン）返済の負担が減ったから	6.4
3 土地や株式など資産価値が増加し、将来にゆとりを感じるようになったから	1.5
4 景気などに関するマスコミの報道を見聞きして、希望を感じるようになったから	1.5
5 欲しいものがあつたから	25.2
6 価格が上昇したが、購入量を減らすわけにはいかない	27.2
7 最近やむを得ない支出があつたから	42.1
8 その他（具体的に）	19.8

(収入が減った人&lt;問6-2(a) で1と回答&gt;に)

問6-3(a). 収入が減った理由は何ですか。 (○はいくつでも)	
1 給料、または店の売上げが減ったから	79.4
2 利息収入が減ったから	11.3
3 株式などの配当や資産の運用益が減ったから	5.7
4 その他(具体的に )	13.8

(収入が増えた人&lt;問6-2(b) で1と回答&gt;に)

問6-3(b). 収入が増えた理由は何ですか。 (○はいくつでも)	
1 給料、または店の売上げが増えたから	75.8
2 利息収入が増えたから	6.1
3 株式などの配当や資産の運用益が増えたから	6.1
4 その他(具体的に )	21.2

問7. あなたは、全体としてみた場合、今後1年間の支出をどのようにしようと考えていますか。(○は1つ)

1	2	3	4	5
切り詰めよう と思う	やや切り詰めよう と思う	現状を維持しよう と思う	やや増やそう と思う	増やそうと思う
20.1	36.6	41.5	1.3	0.4

#### (4) 物 価

問8. 現在の物価を1年前と比べてみると、あなたの生活実感としては、どのように感じていますか。

(○は1つ)

1 10%以上下がっている	2.9	6 1~3%くらい上がっている	26.8
2 7~9%くらい下がっている	1.4	7 4~6%くらい上がっている	11.1
3 4~6%くらい下がっている	4.5	8 7~9%くらい上がっている	1.7
4 1~3%くらい下がっている	8.4	9 10%以上上がっている	2.9
5 ほとんど前年と変わっていない	39.8		

問9. それでは、1年後の物価は、現在と比べてどうなると思いますか。(○は1つ)

1 10%以上下がる	1.6	6 1~3%くらい上がる	32.3
2 7~9%くらい下がる	0.6	7 4~6%くらい上がる	12.5
3 4~6%くらい下がる	3.2	8 7~9%くらい上がる	2.9
4 1~3%くらい下がる	5.7	9 10%以上上がる	3.8
5 ほとんど現在と変わらない	36.6		

## (5) 借 入

問10. あなた（および配偶者）は、現在、銀行などからの借入がありますか。（○は1つ）

（注）クレジットカードを利用しての買い物や事業目的の借入は除きます。

1	2
借入がある	借入はない
37.1	62.7

（借入のある人＜問10で1と回答＞に）

問10-1. 全体としてみた場合、あなた（および配偶者）の借入の金利は、1年前と比べてどうなっていますか。（○は1つ）

1	2	3	4
上がった	変わらない	下がった	わからない
12.3	60.5	18.7	8.5

問10-2. 1年前と比べた借入の返済負担について、あなたはどのように感じですか。（○は1つ）

1	2	3	4	5
苦しくなった	やや苦しくなった	変わらない	やや楽になった	楽になった
13.3	27.1	53.9	4.9	0.7

問10-3. それでは、1年後のあなた（および配偶者）の借入の金利は、全体としてどうなっていると思いますか。（○は1つ）

1	2	3	4
上がるだろう	変わらないだろう	下がるだろう	わからない
17.5	65.6	7.3	9.5



## (6) 貯蓄商品、金融機関の選択基準

まず、あなたが貯蓄をされる時の貯蓄商品や金融機関の選び方についておうかがいします。

問11. あなたは現在、次の問11-1にあげるような貯蓄商品をお持ちですか。(なお、自営業などの方が事業用としてお持ちになっているものは除きます。また、生命保険、損害保険、共済については掛け捨て型のものを除いてお答えください。)(○は1つ)

1  
持っている  
89.3

2  
持っていない  
10.6

(貯蓄を持っている人<問11で1と回答>に)

問11-1~2. あなたが持っておられる貯蓄商品は具体的にどのようなものですか。次にあげた貯蓄商品でお持ちのものがあればその番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

(< >は最多金額を預入している金融商品)

<銀行、信金、信組、農協、漁協、労金など>		<長期信用銀行など>	
1 普通預貯金	86.0< 12.5>	16 ワイドなど(利付金融債)	2.7< 0.9>
2 貯蓄預貯金	16.3< 2.6>	17 割引金融債	0.7< 0.1>
3 期日指定定期預貯金	30.9< 11.9>	<証券会社など>	
4 スーパーMMC(市場金利連動型定期)	12.9< 4.3>	18 中期国債ファンド	4.7< 0.4>
5 スーパー定期、大口定期(自由金利型定期)	8.9< 4.8>	19 MMF	2.9< 0.4>
6 積立定期、定期積金	43.4< 12.7>	20 株式・公社債投資信託	4.5< 1.0>
<郵便局>		(中国ファンド、MMFを除く)	
7 通常貯金	40.5< 3.0>	21 国債など公社債	2.6< 0.3>
8 通常貯蓄貯金	3.7< 0.5>	22 株式	8.5< 1.8>
9 定額貯金	41.1< 18.8>	23 金貯蓄口座	0.6< 0.0>
10 ニューMMC(市場金利連動型定期)	1.4< 0.2>	<保険会社、農協、漁協、生協、共済団体など>	
11 ニュー定期(自由金利型定期)	1.6< 0.1>	24 生命保険、損害保険、共済	58.6< 8.0>
12 簡易保険	35.7< 4.6>	(いずれも掛け捨て型を除く)	
<信託銀行>		25 個人年金保険、年金共済など	21.8< 1.9>
13 ヒットなど(金銭信託)	3.1< 0.4>	(年金型のもの)	
14 ビッグなど(貸付信託)	8.3< 3.4>	<その他>	
15 個人年金信託	1.4< 0.2>	26 社内預金・社内持ち株	12.9< 4.2>
		27 その他(具体的に )	0.7< 0.2>

問12 (1). あなたは、その貯蓄商品にしようとした時に、利回りの高さや元本の安全性などその貯蓄商品自体の持つ特長をより重視しましたか、それとも、職員の対応やサービスの良さ、店舗が近くにあることなど、その貯蓄商品を取り扱っている金融機関の特長をより重視しましたか。  
(○は1つ)

1	2	3	4
主として貯蓄商品 自体の特長を重視 した	どちらかといえば 貯蓄商品自体の特 長を重視した	どちらかといえば 金融機関の特長を 重視した	主として金融機関 の特長を重視した
29.6	26.5	29.2	13.4

(2)～(4).その貯蓄商品を選ぶ際、重視されたのはどのようなことでしたか。(1)で金融機関の特長を重視した((1)の3または4に○)とお答えになった方も、商品の特長で選ぶとした場合の理由をお答えください。(○はいくつでも)

(( ) は最も重視したこと、< > は今後最も重視していきたいこと)

1 利回りが高いこと	47.2 (27.8) < 35.4>
2 将来値上がりが期待されること	6.7 ( 2.7) < 3.7>
3 給与振込や公共料金の自動引落としに便利であること	30.9 (12.5) < 6.3>
4 取引明細の通知、当座貸越、家計簿機能など便利な機能が ついていること	5.0 ( 1.3) < 1.8>
5 少額でも預け入れや引出しができること	30.9 ( 9.9) < 6.7>
6 すぐ現金化できること	33.4 ( 9.7) < 6.4>
7 元本が保証されていること	38.4 (17.0) < 19.1>
8 預け入れ時点で利回りが確定していること	18.0 ( 5.0) < 6.0>
9 商品の内容が分かりやすいこと	16.0 ( 4.2) < 3.1>
10 定期的に利息や配当をもらえること	14.4 ( 4.3) < 4.8>
11 税金面で有利であること	8.1 ( 1.7) < 2.7>
12 その他(具体的に )	3.1 ( 2.2) < 1.4>

(5)～(7). 金融機関を選ぶ際、重視されたのはどのようなことでしたか。(1)で貯蓄商品の特長を重視した((1)の1または2に○)とお答えになった方も、金融機関の特長で選ぶとした場合の理由をお答えください。(○はいくつでも)

(( )は最も重視したこと、< >は今後最も重視していきたいこと)

1 商品の種類が豊富であること	8.3 ( 2.0) < 2.5>
2 他の金融機関に比べ金利などの点で有利な商品があること	37.2 (17.9) < 26.8>
3 運用相談など商品に関する情報の提供が充実していること	11.6 ( 2.9) < 5.8>
4 窓口の接客態度がよいことや集金・勧誘に積極的であること	28.1 ( 8.5) < 7.1>
5 店舗の数が多くこと、あるいは自宅や勤務先の近くに支店やATM(現金自動預払い機)があること	55.7 (29.2) < 17.8>
6 給与、年金等の振込先であったこと	30.8 (10.2) < 5.2>
7 給与の振込や公共料金の自動引落としなどのサービスが充実していること	33.3 ( 8.3) < 7.5>
8 営業時間が長いこと	9.4 ( 1.0) < 2.0>
9 窓口での待ち時間が短いこと	13.8 ( 1.6) < 2.0>
10 ローンなどが借りやすいこと	9.5 ( 1.6) < 2.9>
11 金融機関の規模が大きいこと	24.5 ( 5.9) < 4.9>
12 世間で名前が通っていること	19.1 ( 2.5) < 1.6>
13 経営内容がよいこと	17.8 ( 5.0) < 10.6>
14 その他(具体的に )	2.9 ( 1.8) < 1.0>

問13 (1)～(2). あなたが現在、貯蓄を目的として取引している金融機関はどれですか。以下のうちあてはまるものに○をつけてください。(8の生損保については掛け捨て型の保険に入っている場合は除いてお答えください。)(○はいくつでも)

(< >は、最多金額を預入している金融機関)

1 都市銀行	30.2 < 14.1>	6 農協、漁協、労金	24.2 < 9.9>
2 地方銀行、第二地方銀行	38.1 < 18.5>	7 証券会社	9.5 < 3.4>
3 長期信用銀行	2.4 < 0.8>	8 生命保険会社、損害保険会社	32.1 < 7.5>
4 信託銀行	8.8 < 4.6>	9 郵便局	62.1 < 28.4>
5 信用金庫、信用組合	27.2 < 11.2>	10 その他(具体的に )	1.0 < 0.8>

## (7) 預金金利自由化に関する考え方など

預金金利の自由化など最近の金融環境の変化について、あなたのお考えなどをおうかがいします。

問14. あなたは最近、「預金金利の自由化」という言葉を見聞きしたことがありますか。(○は1つ)

1  
見聞きしたことがある  
87.3

2  
見聞きしたことはない  
12.5

問15. 昨年の10月から、当座預金を除く預金の金利が完全に自由化され、定期預金、普通預金の金利を各金融機関の独自の判断で決められるようになっていますが、あなたはこのことをご存じですか。(○は1つ)

1  
内容まで知っている  
17.4

2  
見聞きしたことはある  
67.1

3  
知らない  
15.5

問16. 預金金利の自由化などについて以下の11組の対照的考え方があります。あなたのお考えはA、Bのどちらに近いですか。(○はそれぞれ1つ)

		1 A に近い	2 ど ち に 近 か い と い え ば	3 ど ち に 近 か い と い え ば	4 B に 近 い	5 わ か ら な い	
	A						B
(1)	最近、従来とは異なった新しい貯蓄商品が増えていると思う	21.0	38.8	11.6	8.4	19.9	従来と比べても貯蓄商品の種類は、あまり増えていないと思う
(2)	今後、従来とは異なった新しい貯蓄商品が増えていくと思う	25.7	39.6	10.3	7.6	16.4	今後、貯蓄商品の種類はあまり増えないと思う
(3)	最近、同じ貯蓄商品でも金融機関ごとの金利の差がかなり大きくなっていると思う	6.8	18.9	24.5	25.9	23.7	従来と比べても、同じ貯蓄商品の間では、金融機関ごとの金利の差はあまり大きくなっていないと思う
(4)	今後、同じ貯蓄商品でも金融機関ごとの金利の差はかなり大きくなっていくと思う	8.2	23.1	26.5	22.9	19.0	今後、同じ貯蓄商品の間では、金融機関ごとの金利の差はあまり大きくならないと思う

		1 A に近い	2 ど ち ら か と い え ば	3 ど ち ら か と い え ば	4 B に 近 い	5 わ か ら な い	
	A						B
(5)	預金金利の自由化により、自分の貯蓄商品の選び方にかなり影響が出てくるだろう	14.7	26.5	21.5	19.7	17.3	預金金利が自由化されても、自分の貯蓄商品の選び方にはほとんど影響は出ないだろう
(6)	預金金利の自由化は、金融機関よりも預金者のメリットの方が大きい	7.5	21.0	20.1	16.8	34.1	預金金利の自由化は、預金者よりも金融機関のメリットの方が大きい
(7)	預金金利の自由化は、小口よりも大口の預金者にメリットが大きい	42.7	30.2	3.9	2.3	20.5	預金金利の自由化は、大口よりも小口の預金者にメリットが大きい
(8)	自分は、金融機関の最近の経営状況について、関心がある	13.5	23.5	21.1	21.3	20.4	自分は、金融機関の最近の経営状況について、関心はない
(9)	自分は、金融機関の最近の経営状況をある程度知っている	2.8	12.2	23.9	32.1	28.7	自分は、金融機関の最近の経営状況をほとんど知らない
(10)	金融機関も一般企業と同様に競争させた方がよい	29.8	24.4	12.9	11.7	20.9	金融機関は公共性が高いので競争はさせるべきではない
(11)	預金金利の自由化により、自分は以前よりも情報や資料の収集に力を入れている	3.4	17.0	27.7	34.3	17.2	預金金利が自由化されたが、自分は情報や資料の収集に力を入れていない

問17. 貯蓄商品や金融機関を選ぶ際には、次のようなA、B 2つの考え方があります。あなたは、今後、A、Bどちらの考え方を重視していきたいと思いますか。(○は1つ)

- ・ Aの考え方……金利を最も重視する
- ・ Bの考え方……多少金利は低くとも口座振替やATM（現金自動預払い機）・CD（現金自動払い機）、家計簿通帳などの金利以外のサービスが充実して便利であることを重視する

1	2	3	4	5
Aの考え方を重視していきたい	どちらかといえばAの考え方を重視していきたい	どちらともいえない	どちらかといえばBの考え方を重視していきたい	Bの考え方を重視していきたい
19.9	25.2	25.0	23.9	5.6

問18 (1). 仮にあなたが今、長年取引のあるA金融機関に1年満期で300万円の定期預金を持っているとします。その定期預金が満期になった時に、A金融機関の金利よりも高い金利をつけるB金融機関が近くにあるとわかった場合、最低どの程度の金利差があれば、あなたはB金融機関の方に預け替えをしたいと思いますか。なお、金利以外の条件（規模、ローンの借りやすさ、経営やサービスの内容など）についてはA金融機関とB金融機関では全く違いがないものとします。(○は1つ)

1 0.1%程度の差でも預け替える	10.9	5 2%程度の差があれば預け替える	10.0
2 0.2%程度の差があれば預け替える	3.4	6 3%程度以上の差があれば預け替える	18.0
3 0.5%                   〃	13.0	7 金利差の大小にかかわらず預け替えはしない	23.7
4 1%                    〃	20.0		

(2). それでは、あなたが今、A金融機関に1年満期の10万円の定期預金を持っているとした場合についてはいかがですか。(1)と同様にお答えください。(○は1つ)

1 0.1%程度の差でも預け替える	6.2	5 2%程度の差があれば預け替える	6.4
2 0.2%程度の差があれば預け替える	1.9	6 3%程度以上の差があれば預け替える	20.1
3 0.5%                   〃	7.0	7 金利差の大小にかかわらず預け替えはしない	44.3
4 1%                    〃	13.0		

(3). あなたが今、A金融機関に10万円の普通預金を持っているとした場合はどうですか。(2)と同様にお答えください。(○は1つ)

1 0.1%程度の差でも預け替える	4.6	5 2%程度の差があれば預け替える	5.1
2 0.2%程度の差があれば預け替える	1.5	6 3%程度以上の差があれば預け替える	14.5
3 0.5%                   〃	4.8		
4 1%                    〃	8.0	7 金利差の大小にかかわらず預け替えはしない	60.5

(4). それでは、あなたが、A金融機関に10万円の普通預金を持っており、その口座を給与振込みや公共料金の自動引落しに使っているとした場合はどうですか。(3)と同様にお答えください。(○は1つ)

1 0.1%程度の差でも預け替える	3.0	5 2%程度の差があれば預け替える	3.6
2 0.2%程度の差があれば預け替える	1.1	6 3%程度以上の差があれば預け替える	10.8
3 0.5%                   〃	3.0		
4 1%                    〃	5.4	7 金利差の大小にかかわらず預け替えはしない	72.2

問19. あなたは、過去2～3年間に、より高い金利を得ることを主な目的として、預け替えを行ったことがありますか。(○は1つ)

1	2
ある	ない
17.6	82.2

問20. あなたは、預金には預金者保護のために、原則として1金融機関につき預金者1人当たり元本1,000万円まで保険がかけられていることをご存じですか。(○は1つ)

1	2	3
内容まで知っている	見聞きしたことはある	知らない
4.0	25.7	70.0

問21. あなたは、以下の(1)から(4)に貯蓄や投資をする場合、元本割れの危険性はそれぞれの程度あると思いますか。(なお、物価上昇による目減りは除いてお考えください。)

(○はそれぞれ1つ)

1 かなりある	2 少しある	3 ほとんどない	4 全くない	5 わからない
------------	-----------	-------------	-----------	------------

(1) 預 金	→ 1.3	9.8	37.3	29.0	22.4
(2) 株 式	→ 54.0	12.4	2.4	2.9	27.9
(3) 投資信託	→ 20.7	28.7	8.9	4.0	37.3
(4) 生命保険・損害保険(掛け捨て型を除く)	→ 6.9	24.9	29.4	8.4	30.0

次に、預金金利の自由化や貯蓄商品の内容など金融についての情報に関することをおうかがいします。

問22. あなたは、日頃の生活の中で、金利自由化や個々の貯蓄商品の内容など金融に関する情報や資料を見たり、聞いたりすることはどの程度ありますか。(○は1つ)

1	2	3	4
ひんぱんにある	時々ある	あまりない	ほとんど(全く)ない
3.6	38.4	33.7	24.3

(見たり、聞いたりすることがある人<問22で1~3と回答>に)

問22-1. あなたが、金利自由化や個々の貯蓄商品の内容など金融に関する情報や資料を見たり、聞いたりするのはどういう時ですか。(○はいくつでも)

1 テレビの報道で	65.9
2 新聞の記事で	68.6
3 雑誌の記事で	20.8
4 金融関係の職員、勧誘員などの話を聞いて	32.9
5 チラシ、パンフレットなどを見て	30.0
6 家族、親戚、友人、知人などの話を聞いて	19.7
7 大学などの教育機関や各種セミナーで	0.7
8 その他(具体的に )	1.2

問23. あなたは、金利自由化や個々の貯蓄商品の内容など金融に関する情報や資料を、十分持っている(あるいは入手することができる)と思いますか。(○は1つ)

1	2	3	4	5
十分だと思う	まあ十分だと思う	どちらとも言えない	やや不足していると思う	不足していると思う
1.1	8.0	30.1	23.3	36.9

問24. あなたは、以下にお示しした金融に関する情報や資料の中で、日頃不足しているとお感じになっているものはありますか。(○は3つまで)

1 金利自由化など金融自由化に関すること	37.3
2 各貯蓄商品の内容、仕組み	41.1
3 各金融機関、各貯蓄商品ごとの利回りの状況	42.5
4 各金融機関の経営状況	31.3
5 各金融機関が提供するサービスに関すること(給与振込、自動引落とし、キャッシュカードの利便性、景品など)	15.4
6 各金融機関の店舗配置状況	4.6
7 住宅ローンなど各種の個人向けローンの内容に関するもの	17.6
8 その他(具体的に )	0.5
9 とくに不足は感じていない	19.1



## フェイス・シート&lt;回答者の属性&gt;

F1. あなたの性別は。

1	2
男	女
49.3	50.7

F2. あなたの年齢は。(満年齢でお答えください。)

1 20～29歳	13.2	4 50～59歳	20.5
2 30～39歳	19.4	5 60～69歳	14.9
3 40～49歳	25.9	6 70歳以上	6.2

F3. 現在一緒に住んでいるご家族の構成は、次の中のどれにあたりますか。(○は1つ)

1 1人住まい世帯	5.3	4 親と子と孫の3世代世帯	17.6
2 夫婦だけ世帯	17.5	5 その他(具体的に )	2.0
3 親と子の2世代世帯	57.6		

F4. あなたのお住いは、次のどれにあたりますか。(○は1つ)

1 土地付き持ち家	60.1
2 持ち家のマンション・アパート	4.8
3 借地持ち家	3.8
4 借家(一戸建て)	5.0
5 公営・公団・公社の賃貸アパート	6.5
6 一般の賃貸マンション・アパート	8.2
7 社宅、官舎、寮	4.3
8 間借り、住み込み	0.3
9 親または子供の家に同居	6.9

F5. 主としてお宅の生計を支えていらっしゃるのはあなたですか。(夫婦で同じ程度という場合などは、「2 はい」に○をつけてください。)

1	2
いいえ	はい
46.9	53.0

F6. あなたのご職業は次のどれにあてはまりますか。パート勤めの方は勤め人としてお答えください。  
(○は1つ)

自 営 業 ・ 家 族 従 業 者	1 農林漁業	4.1	勤 め 人	4 管理職	4.7	無 職 者	10 専業主婦	14.5
	2 商工・サービス業	11.5		5 専門技術職・教員	9.4		11 学生	1.3
	3 自由業	3.7		6 事務職	10.5		12 年金・恩給生活者	8.0
	19.3			7 労務職	12.2		13 その他無職	3.1
				8 販売・サービス職	8.4			
				9 主婦（パート勤め）	8.6			
			53.8			26.9		

(注) パート勤めの主婦の方は9に、それ以外のパート勤めの方は、5～8のいずれか1つに○をつけてください。

F7. あなたご自身の昨年1年間の収入は、税込でおよそいくらぐらいですか。(ただし、退職金や土地の売却代金など一時的な収入は除いてください。)(○は1つ)

1 収入はない	17.7	5 800万円～1,000万円未満	4.2
2 400万円未満	46.8	6 1,000万円～1,500万円未満	2.2
3 400万円～600万円未満	16.6	7 1,500万円以上	1.0
4 600万円～800万円未満	8.2		

F8. また、大変失礼かと存じますが、あなたご自身の貯蓄残高は次のどの区分に入りますか。事業目的のものを除いた預貯金、信託、保険、株式、債券、投信などの合計額でお答えください。なお、生命保険、損害保険、共済については掛捨て型のものを除いてお答えください。(○は1つ)

1 貯蓄はまったくない	11.1	4 500万円～1,000万円未満	13.7
2 100万円未満	24.7	5 1,000万円～2,000万円未満	6.3
3 100万円～500万円未満	35.3	6 2,000万円以上	4.4

F9. あなたは結婚していらっしゃいますか。

1	2	3
既婚（配偶者あり）	既婚（配偶者と離別・死別）	未婚
78.0	7.0	14.9

(既婚者・配偶者あり&lt;F9で1と回答&gt;に)

F9-1. あなたと配偶者の収入を合わせると、昨年1年間の収入は、税込でおよそいくらぐらいですか。(○は1つ)

1 収入はない	1.5	5 800万円～1,000万円未満	13.1
2 400万円未満	22.3	6 1,000万円～1,500万円未満	8.7
3 400万円～600万円未満	28.4	7 1,500万円以上	3.6
4 600万円～800万円未満	18.1		

F9-2. また、大変失礼かと存じますが、あなたと配偶者の貯蓄残高を合わせると、次のどの区分に入りますか。(○は1つ)

1 貯蓄はまったくない	4.6	4 500万円～1,000万円未満	20.6
2 100万円未満	14.2	5 1,000万円～2,000万円未満	11.7
3 100万円～500万円未満	33.9	6 2,000万円以上	9.4

(既婚者&lt;F9で1、2と回答&gt;に)

F10. 同居・別居にかかわらず、現在お子様がいますか。

1	2
子供がいる	子供はいない
88.9	10.7

[子供のいる人&lt;F10で1と回答&gt;に]

F10-1. 一番下のお子様は次のどの段階ですか。(○は1つ)

1 小学校入学前	19.1	4 短大、高専、専門学校生	2.4
2 小学生、中学生	19.1	5 大学生、大学院生	4.8
3 高校生、浪人中	9.2	6 社会人	45.2

F11. あなたは、テレビや新聞、雑誌の金融、株式に関する記事や報道を熱心に見るほうですか。

(○は1つ)

1	2	3	4
いつも熱心に見る	たまに熱心に見る	あまり見ない	まったく見ない
6.5	34.6	46.3	12.5

(情報サービス局)